

○ 第1部 地域まちづくりについて	
1 震生湖誕生100年(2023年9月1日)に向けての対応	
【市からの状況説明】	
<ul style="list-style-type: none"> 震生湖について、誕生百年までに貴重な地質遺産として、また震災遺構として国の登録記念物となるよう取組を進めている。 7月1日に地権者や自治会など地元関係者を対象に説明会を開き、今後、地権者の合意を得ていくとともに、多くの市民に文化財としての価値を理解してもらうため、専門家による講演会やシンポジウム、現地見学会に取り組んでいく。 これらをきっかけに、地域資源としての価値を更に深め、震生湖を大切に作る機運を高め、将来に向けての保全活用につなげていきたい。 また、この取組と合わせて、豊かな自然環境の保全及び良好な景観の創出による魅力向上を図るとともに、自然湖としての姿にできるだけ回復させる作業も進めている。 現時点では、散策路の整備や湖面環境の改善に取り組み、老朽化した湖畔あずまや・遊具等の撤去のほか、階段、手すりロープや土留めの設置などを行っている。 昨年度は、湖畔駐車場と売店があった土地を取得し、栈橋等の工作物を撤去したが、今年度は、取得した土地にベンチやテーブルを設置し、訪れた方の憩いの場を創出していく。 登録後には、ガイドマップやホームページなど広報媒体に震災遺構としての価値などの説明も加え、来訪者の拡大に努めるとともに、湖畔周辺に木道などを設置し、来訪者が気持ちよく散策できるよう環境整備を進めていく。 震生湖を文化財として光をあて、その魅力に磨きをかけ、地域活性化につながるよう、観光施策と足並みをそろえて取り組んでいくので、地域の御理解と御協力をお願いしたい。 	文化スポーツ部長
【質問・要望・意見等】	
<p>(要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> 震生湖誕生100年を迎えるに当たり、地権者等ときちんと話し合いの場を持ってもらい安心している。 観光振興課から「自然湖としての魅力を引き継いでいきたい」との話をもらい、大変うれしく思っている。 昔は、里山として農家が管理していたが、現在はこれが困難になっており、苦慮している。 関係者との調整には時間がかかると思うが、中井町を含めて、様々な所管と連携し皆さんの意見や要望をよく聞いていただきたい。特に地権者の多くは、買い取ってもらうことを望んでいる。 	上町自治会
<p>(意見・質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> 震生湖を観光地には、リピーターを増やさないといけない。もう一度来たい、友人に勧めたいという観光地になるには、相当の覚悟が必要と思う。市民を巻き込んだ募金活動など、一致団結して盛り上げてほしい。 例えば、展望台を作って、丹沢、富士山はもちろん、中井町も眺望できるような取組をしたらどうか。 	秦野南が丘さつき東自治会

	<p>(市回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度は市民だけでなく、来訪者にとっても憩いの場となるように、ベンチや木道の設置に取り組むこととしている。 湖面環境の改善や、中井町へのハイキングルートの新設なども課題と考えている。 展望台の設置の提案も含めて、しっかりとした議論を行い、魅力ある観光地となるように意気込みを持って取り組む。 	<p>環境産業部長</p>
	<p>(要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> 茅ヶ崎では、県が買い取った形で自然の遊び場と位置付けられ、何回も行ってみたいと思える公園があるので、是非参考にしたい。 観光の観点も大事と思うが、教育的な観点も含めて楽しむことができるこうした「自然公園の整備」ということも考えて欲しい。 	<p>秦野南が丘さつき東自治会</p>
<p>2 県下有数の生徒数を誇る南小学校通学路の安全対策強化について</p>		
<p>【市からの状況説明】</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> 児童数が1,152人と市内で最も多い南小学校の通学路は、PTAの地区委員が中心となり、児童・生徒の安全を最優先に、総合的に判断して設定している。 通学路の安全点検により改善が必要と判断されたときは、教育委員会に報告されるとともに、市の関係部局及び秦野警察署等とも連携し現地確認等を行い、その実態把握と改善に努めている。 「狭あいの通学路」について、歩道やグリーンベルトの設置など、計画的に進めるとともに、交通規制等についても、利用者の日常生活への影響が大きく、地域の合意形成など様々な課題もあるため、地域と連携し、子どもたちの安全確保に努めていくこととする。 大阪府北部地震によりブロック塀の倒壊事故が発生したことを受け、昨年、市内全ての通学路上のブロック塀等について外観目視の点検調査を実施し、3,167件の塀を抽出した。そのうち346件は、倒壊のおそれがある「ひび」や「傾き」が確認されたため、その安全点検を行うとともに、所有者への説明を行いながら撤去や改修をお願いした。 高齢者の運転する自動車による事故も増えていることを受け、本市では交通安全協会や交通指導員、交通推進員、母の会、PTAや地元の有志の方々などの協力をいただき、主要な交差点での交通安全指導や見守りの実施、青色回転灯を装備したパトロール車による巡回等を行なっている。 高齢者の運転免許証の返納については、自主返納につながるサポート体制の周知を積極的に行うとともに、自主返納をしやすい環境を関係部署と連携しながら整えていきたい。 	<p>教育部長</p>

【質問・要望・意見等】	
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まちのにぎわいづくりに観光協会と一緒に取り組むとともに、南小学校の通学路の見守り活動、あいさつ運動を行っている。 ・ 1, 152人の児童のうち、登校時に西門を使う子が6割を超える。朝は車の通日も多く、特に雨の日は傘をさして歩くのは大変で、1列に歩くのも難しい。是非一度状況を見に来て欲しい。 	宮町自治会
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現場の映像を見て危険という認識を持っている。通学路の安全対策に、できることからやっていきたい。 	市長
<p>(意見・質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県道から踏切までの50mくらいが歩道が無く、信号と踏切待ちが重なると、大人でも横歩きしないと通れない。登校の時間帯は子供たちが大変危険であるため、今後改善してもらいたいが、予定はあるか。 	今川町2自治会
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指摘のあった市道71号線は、延長が750mある中で、そのうちの550mについて歩道が完成している。指摘のあった場所の危険性は認識しているので、通学路の安全のために受けることができる国の財源も視野に入れて、具体的に進めていきたい。 	建設部長
3 秦野駅の賑わい創造について	
【市からの状況説明】	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「にぎわい」とは、本市が有する地域資源を生かし、市内外に住まう人たちが、“まち”に集い交流することで、本市の魅力と新しい価値が創造され、市民との協働による“快適な日常生活”や“地域の経済活動”が持続できる仕組みにより、“まち”に活力があふれている状態と考えている。 ・ 秦野駅周辺、特に南口のにぎわいづくりにおいては、駅周辺からはだの桜みち、また南が丘や震生湖へと広がるエリアに点在する商業施設と来訪者を結びつける施策を講じる必要があると考えてる。 ・ 秦野駅南口広場は、秦野駅南部土地区画整理事業により、平成11年に整備が完了し、市の南部地域、中井町及び二宮町との交通結節点として、さらには南地区の中心商業地として、周辺の住環境との調和に配慮しつつ、将来的に土地の高度利用が図られる地域となっている。 ・ 尾尻諏訪原線や秦野駅連絡線などの都市計画道路未着手区間について、早急にその整備を検討する必要があるものの、財政状況が厳しい中、大規模な道路整備は、国の補助金を活用し事業を進めることが、市民の負担が最小限に抑えられ、市民サービスの向上につながると考えている。 ・ 国の補助金を活用するためにも、今年度、道路整備の基本方針、事業箇所等を明示した「道路整備プログラム」の策定を進めており、南地区についても、その中で検討していきたい。 	建設部長

<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の居場所づくりに当たり、市では介護予防や健康づくり、見守り活動に繋がるサロン活動をしている市民団体を補助している。 ・ さらに、平成30年度から地域高齢者支援センターに「生活支援コーディネーター」を配置し、高齢者の介護予防や生きがいづくり活動、生活支援活動など、地域コミュニティの活性化にむけた取組を始めている。関係機関との連携を図りながら、地域での活動がさらに発展していくよう取り組んでいく。 	
【質問・要望・意見等】	
<p>(要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 秦野駅の北口において、ミスタードーナツ、回転ずし、本屋などが次々に閉店している。家賃が月に90万円くらいかかると聞いたことがあるが、小田急の管轄とはいえ、市も協力して対策していただきたい。 <p>(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 南口の女性用の公衆便所の臭いがひどい。便器も和式であり改修が必要と思うがいかがか。 	<p>諏訪町自治会</p>
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者が不快になることがないように、駅前広場の清掃業務を委託する専門業者行う点検管理を強化する。 ・ 和式トイレの改修についても、実施に向けて前向きに検討する。 	<p>建設部長</p>
<p>(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 秦野駅北口のイトーヨーカドーとパチンコ西部の跡地について、それぞれ今後の計画がどうなっているのか聞きたい。 	<p>今川町1自治会</p>
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イトーヨーカドーの跡地については、2階建の建物の建設が進められており、1階部分が生鮮食料品売り場、2階部分は、内科クリニックのほか医療機関が4つ入ると聞いている。パチンコ西部の跡地は、マンションが建設されるという情報をもらっている。 	<p>政策部長</p>
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前はずまの顔である。さらに言うと秦野駅は市内4駅の中心部と考えているが、残念ながらくつろぐ場所もなく、荒んでいるといてもいい。新しくできた駐輪場に設置されたエレベーターも、利用者はほとんどが駐輪場利用者ではないか。もっと有効な活用をして欲しい。 	<p>ハイタウン自治会</p>

○ 第2部 市政全般について	
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の美化ボランティア活動をする中で、たばこの吸い殻、空き缶に加え、ポリ袋が目立つ。室川から相模湾に流れ、海洋汚染にもつながる大きな課題であるが、「秦野市ごみの散乱防止等に関する条例」では、「たばこの吸い殻、チューインガムのかみかす又は紙くずその他これに類する物」と定義され、プラスチックごみが定義されていない。先日のG20でも注目された問題でもあるので、ぜひプラごみを項目に加え、市の内外に市の取組を発信したらどうか。 	今泉台自治会
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> この問題は大変重要な課題と考えている。有効な対策をしっかりと考えて対応していきたい。 	観光産業部長
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> 秦野のたばこ耕作については、昭和59年に最後の耕作者が栽培をやめ、専売公社もイオンとなり、試験場も閉鎖予定と聞いている。このままだと、秦野の誇るたばこ文化を感じさせるものがすべて消えてしまう。個人的に調査したところ、田原に2件、柳川に3件、栃窪に1件、それぞれたばこの乾燥庫が残っているが、土塀や屋根も老朽化し、壊れてしまうのも時間の問題となっている。秦野市の産業遺産として、文化財的な指定ができないか。古墳公園や緑水庵などに移設し、農具等と合わせて展示するなど、前向きに検討していただきたい。 	上町自治会
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> たばこ耕作は本市発展の礎を築いた歴史文化遺産であり、これを後世に残すことは大切なことだと考えている。既に農具などは収集保存しており、来年度に桜土手古墳展示館を総合的な歴史資料館に移行するに合わせ、これらを活用とした展示を行っていく。なお、たばこ農家の古民家の緑水庵は、現在国登録有形文化財の登録手続きを進めている。 	文化スポーツ部長
<p>(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅前のにぎわいづくりに取り組むためにNPO法人が活動を始めたと聞いた。情報があれば教えて欲しい 	今川町1自治会
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> おそらく「秦野のにぎわい創造まちづくり」という団体のことと思う。五十嵐商店の保存など、まちのにぎわいづくりに取り組みたいと組織として立ち上げるということで話を聞いている。市民目線で盛り上げていくというのは大切なことだと考えているので、どういう形になるかこれからのことになるが、応援したいと考えている。 	市長
<p>(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> 秦野赤十字病院の分娩停止から4年経過したことの認識について 妊婦のための広域相談窓口の設置について 助産師による院内助産について 	宮町自治会

<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 神奈川県や日本赤十字社神奈川県支部、そして秦野赤十字病院と連携し、分娩業務再開に向けた協議を重ねてきたが、全国的な産科医師不足の中、非常に厳しい状況である。引き続き、本市の周産期医療体制の整備のため、秦野赤十字病院と連携しながら、産科医師の確保に向けて取り組んでいく。 ・ 保健福祉センターに設置している、子育て世代包括支援センターにおいて母子保健コーディネーターを初めとした専門職が、妊婦との面談により、妊娠から出産、子育てまでの切れ目ない支援を行っている。この面談を通して、受診する病院や診療所などのコーディネートを、妊婦の実情に応じて丁寧に対応していく。 ・ 秦野赤十字病院と情報共有し、導入方法を協議したが、産科医師の絶対数が不足している状況において、その実現には結びついていない状況である。安全かつ安心な分娩業務の再開には、まず産科医師の確保が必須であるため、引き続き、病院や関係機関と連携して取り組んでいく。 	<p>政策部長</p>
<p>(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市長就任から約1年半が経過した今、これまでの取組と今後の展望について教えて欲しい。 	<p>まちづくり委員会</p>
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 震生湖は、潜在的な魅力を持つ貴重な地域資源と考えている。 ・ 空き店舗対策の意見もいただいた。この課題については、小田急電鉄とよく連携し、課題の解決に向けて取り組んでいく。 ・ まほろば大橋から県道までの県道705号線が、すべて16m幅の道路として開通することは、秦野駅前のにぎわいづくりの起爆剤になると考えている。着実に工事が進むよう県に働き掛けていきたい。 ・ 中学校の完全給食実施については、令和23年度まで69億円という総額を定め実施することとなった。旧水道局の跡地を活用したセンター方式により実施するため、すでにエレベーターのある本町中学校をのぞく8校にエレベーターを順次設置していく。令和3年12月には実施できるよう取り組むこととする。 ・ 山岳スポーツの聖地を目指し、神奈川県と連携して、県立秦野戸川公園にスポーツライミングの施設を整備することとなっている。リードとスピード競技を行うための施設を神奈川県が、ボルダリング施設を秦野市がそれぞれ整備をし、今年度完成を予定している。8月には八王子でスポーツライミングのオリンピック出場選手が決まるので、事前キャンプの誘致をしていきたい。 ・ 市長就任時に示した「5つの誓い」は、一気に進めることは難しいが、少しずつであっても着実に前に進めていく。引き続きたくさんの皆さんのアドバイスをいただきたい。 	<p>市長</p>